

路面凍結 スピードダウンと車間距離

交差点手前、滑って交差点内で衝突！ 注意しましょう

目がかゆいは眠気のサイン 運転時の休憩は2時間ごとに

わき見は厳禁、100%運転に集中しましょう

午後9時 ロービームで走行、気付くのが遅れた

横断中の30歳男性はねられ、意識不明の重体

現場は信号機や横断歩道のない場所で、外灯はなく事故当時暗かった

2019/2/22(金) 12:28

20日午後9時ごろ、熊本県の県道を歩いて横断していた男性(30)が軽乗用車にはねられ、意識不明の重体です。現場は信号機や横断歩道のない場所で、外灯はなく事故当時暗かったということです。軽乗用車の男性はロービームで走行していて、男性に気付くのが遅れたと話しているということです。

午後7時 右から横断していた男性

車にはねられ重傷、会社員の男を逮捕

◇右からの横断歩行者・自転車に注意しましょう◇

2019/2/22(金) 12:01

21日午後7時前、長野県の信号交差点で、横断歩道を渡っていた男性(73)が、左から来た乗用車にはねられ、頭の骨を折る大けがをし、警察は乗用車を運転していた会社員の男(31)を現行犯逮捕して調べています。

午前4時まで飲酒、午前8時に出勤

内部調査に対し、「酒は抜けていると思った」と話している

巡査が酒気帯び運転の疑い

◇違反だと…分かってやってる、『飲酒運転』 「飲酒運転は事故でなく犯罪」◇

2019年02月22日 21時02分

警察署に勤務する20代の巡査が酒を飲んで車を運転したなどとして、県警察本部は酒気帯び運転の疑いで書類送検するとともに停職6か月の処分をしました。巡査は依願退職したということです。巡査は朝8時ごろ、車を運転して警察署に出勤しましたが、酒のにおいがしたため検査した結果、基準を超えるアルコールが検出されたということです。巡査は午前4時ごろまで焼酎やシャンパンなどをおよそ20杯飲んでいて、内部調査に対し「酒は抜けていると思った」と話しているということです。

危険運転致死の容疑で男を逮捕

飲酒、蛇行運転、正面衝突、相手男性を死亡させる

時速40km制限の場所を、時速100kmのスピード

2019/2/22(金) 19:59

静岡県で飲酒のうえ蛇行運転をして、対向車と正面衝突事故を起こし、男性(71)を死亡させたとして男(29)が逮捕されました。容疑者は事故の直前まで複数の飲食店をはしごして酒を飲んでたということです。また、防犯カメラの映像などから時速40km制限のところを約100kmのスピードを出していたとみられます。